

留学体験レポート

国際学部国際文化学科

本間千華

1. はじめに

8月24日から12月17日の四か月間、アメリカのノースウエストミズーリ州立大学へ留学してきました。今回は大学で受けたプログラムについてお伝えします。

2. 授業

ESL (English as a Second Language) というコースで授業を受けました。レベル別に2クラスに分けられ、授業はもちろん全て英語で行われます。はじめは自分が聞き取っている英語が正しいのかどうか不安で、発言が求められてもなかなか挙手することができませんでした。しかし先生方はとてもわかりやすい英語を話してくれ、また皆に平等に接してくれるのでその不安は次第に消えていきました。クラスメートは韓国人、中国人、サウジアラビア人、そして一ヶ月間だけメキシコ人と一緒でした。初めは彼らの英語力におびえていたのですが、よく聞くと日本人独特の英語の発音があるように、彼らにもまたその国の独特な英語の発音があることがわかりました。お互い分からないところを教え合ったりしていくうちに、仲も良くなっていきました。少し苦勞したところが、一ヶ月間だけメキシコ人と一緒に授業を受けたときでした。彼らの話す英語は巻き舌の癖が強くて私には聞き取りづらく、また授業中のスタイルもとても積極的で日本人から見たら真逆でした。こうした違いになれるのは大変でしたが、その一方で彼らの自由さと陽気さがとても楽しくて新鮮な気持ちになりました。

3. Conversation Partner(CP) & Activity Buddy(AB)

週に一時間決められたパートナーと会って、会話をするのが CP、イベントに参加するのが AB です。私の英語力の向上、そして友人作りにおいてとても助かったのがこの2つのプログラムでした。私の CP はアメリカ人とクラスメートの韓国人でした。初めのうちは何を質問されているのか分からず、韓国人が話している内容から推測して答えていました。徐々に回数を重ねていくうちに会話も聞きとれるようになり、最後には二人から上達したと言ってもらえた時がとても嬉しかったです。そして AB もアメリカ人で、私たちは校内のイベントにいくつか参加したり近くのお店や湖に行ったりしました。初めはビジネスパートナーのようなただ会うだけの関係でしたが、やがて友達として関わるようになり毎週彼女と会う時間がとても楽しみになっていました。

4. おわりに

このアメリカ留学のおかげで、英語という言葉をより身近に感じることができました。またこの期間に会えた多くの友人のおかげで英語を勉強することがより楽しくなりました。アメリカで得たものをこれからも大切にしていきたいです。